

ニュースレター

ゆりおもての森から

林野庁 九州森林管理局
西表森林生態系保全センター
平成 29 年 5 月発行 No.50 号



ヨウテイボク

木道利用に係るガイド講習会を開催

西表森林生態系保全センターでは、3 月 14 日（火）西表島の竹富町離島振興総合センターにおいて、平成 20 年に森林環境教育を推進するための施設として設置した木道の適正な利用と安全確保を図る目的でガイド講習会を開催しました。

講習会は、昼の部と夜の部に分かれて実施し、昼の部で 13 名、夜の部で 23 名が参加し、総参加者数 36 名のうち 6 名が新規の受講者でした。

講習会の内容は、「木道を利用する際の留意事項の説明」、「木道周辺マングローブ林等モニタリング調査の結果報告」、「センター概要、仲間川の自然、各種法律の説明」等で、講習を受講された皆さんは熱心に聞き入り、西表島の自然やガイドの重要性について再確認する良い機会になったと思います。



ガイド講習会の様子

マングローブ林を学び 浦内川を楽しむ「筏川下り」

5 月 13 日（土）に、船浦中学校の『三大行事』である浦内川筏下りが実施されました。

当日は、生徒 15 名と教職員、保護者、支援者の総勢 45 名が参加し、当センター職員 2 名と租納森林事務所森林官も森林環境教育の支援として参加しました。

参加者等は、7 時 45 分に浦内川駐車場に集合し出発式を行った後、浦内川上流の軍艦岩まで観光船で移動し、生徒と教職員等は 3 艇の手作り筏に分乗。また、支援する教職員、保護者等は船やカヌーに乗り、9 時頃から筏川下りを開始しました。筏に乗った生徒たちは観光船とすれ違うたびに手を振ったり、近くにある滝で休憩をしながらゆっくりと下っていきました。



イカダ下りの様子

ゴール前のチェックポイントでは、琉球大学の渡辺信先生からオヒルギ、メヒルギ、ヤエヤマヒルギの葉や根の違いや西表島のマングローブ林が日本で最大の広がりがあることを教わり、話を聞いた生徒からマングローブ林を大切にしていきたいなどの話がありました。

その後、生徒たちは筏に乗りゴールまでの間 3 艇での競争が始まり、櫂で漕ぐ艇、みんなで筏を押す艇があり、残っている力をそれぞれ出し尽くし、全員が無事ゴールし記憶に残る一日となりました。

池田九州森林管理局長が西表島を視察

5月17日から18日にかけて、池田九州森林管理局長が西大桸竹富町長との林政対談及び世界遺産登録に向けた西表島の現地視察のため、西表森林生態系保全センターへ来所されました。

当日は、西大桸竹富町長との林政対談を終え当センターへ。その後、石垣港から高速船で一路西表島へ向かいました。

西表島に到着後、観光客が多く訪れる浦内川を観光船に乗り軍艦岩まで行き、そこから西表横断道を約2.5 km汗をかきながら歩きカンピレーの滝に到着し、自然の雄大さを肌で感じる1日目となりました。

2日目は、仲間川の大富乗船場から乗船し、森の巨人たち百選に指定されている推定樹齢400年の仲間川「サキシマスオウノキ」を眺め、その巨木の素晴らしさと板根の大きさに感動されました。

その後、仲間川のマングローブが一望できる仲間川展望台へと移動し、マングローブ林の分布状況やマングローブ林の生態系等について、当センター職員から説明を受けました。

次に「森林総研西表熱帯林育種技術園」では、園長より在来種であるフクギの挿し木試験等について説明を受け、また「環境省西表自然保護官事務所」では、自然保護官より希少野生動植物種であるイリオモテヤマネコの生息・生育状況等の説明を最後に西表島を後にされました。



西表横断道での説明の様子



仲間川展望台からのマングローブ林

「カヤック運航に係る安全確保について」講習を開催

4月の人事異動に伴い、4月17日（月）に当センターの新たな職員と大原森林事務所森林官を対象に「カヤックの安全運航について」浦内川でカヤック講習及び訓練を実施しました。

古閑技官が「車両によりカヤックを運搬する場合の運搬用台車の確実な固定」及び「安全な走行について」の説明と「安全に運航するための注意事項」等について、指導を行いました。



カヤックでの運航

その後、服装、カヤックや装備品等について、安全点検表に基づき点検を行い、実際に浦内川でカヤックを運航しました。

訓練では水深の浅いところでの走行や水面近くの障害物等に注意を払うなど、安全な運航とカヤック使用等における確実な緊急連絡体制を確認し講習及び訓練を修了しました。

西表島の樹木

オオバベニゴウガン

分 布	南米ボリビア原産
葉 の 形	長 卵 形
葉 の 縁	全 縁
葉の付方	互 生
実の種類	豆 果
花・萼 色	赤 色

パウダーをつけるパフによく似た赤い花を咲かせることから英名で powder-puff と呼ばれています。

和名のオオバベニゴウガンは大きな紅色の花を咲かせる合歓木（衾井）の意味です。

ボリビア原産の 3m くらいになる中木で、偶数枚の小葉をつけた羽状複葉をもちます。



石垣島ハーリー大会に参加

各地区のウミンチュらが海神に豊漁と航海安全を祈願する爬龍船（ハーリー）競争大会が5月29日に石垣港で行われました。

大会は111回目当日は64チームの参加者と大勢の市民、観光客で賑わいました。

当センターも環境省石垣自然保護官事務所の職員と自衛隊10名の合同チーム「F&R」（フォルスター&レンジャー略）を結成し、団体ハーリー競争に参加し祈願しました。

練習は前日の約1時間という不安が残る中での参加でしたが、各自が一生懸命にヘトヘトになるまで、力強いかいさばきで今年のタイムを40秒も縮めることができました。

結果は、決勝進出はできませんでしたが、予選タイムを聞き、各自が安堵の表情で競技が終了しました。

その後、健闘を称え反省会も夜遅くまで続き、親睦が深まりました。



参加メンバー F&R

ヨウテイボク 「マメ科」 *Bauhinia variegata*

葉が羊のひづめの形に似ていることから、羊蹄木と呼ばれるソシンカの一つで、鮮やかな赤紫色の大きな花を咲かせます。

高さ6mくらいになる中木で街路樹や公園木として多く見られます。



発行にあたって

平成18年7月31日に「ニュースレター いりおもての森から」第1号を発刊し、今回で節目の50号を迎えました。

この間、「西表森林環境保全ふれあいセンター」は平成25年に一般会計化となり「西表森林生態系保全センター」へと名称が変わり、職員一丸となって業務に取り組んでいます。

当センターの業務である

- 森林生態系における生育環境調査等
- 希少野生動植物の保全等
- 外来種等の対策
- 漂流・漂着ゴミ調査
- 森林環境教育の推進

について、興味や親しみを持っていただけるよう解りやすく説明することを心がけています。

今後さらに、幅広い層の方々に読んでいただけることを願って、当センターの取り組みや亜熱帯に位置する西表島の植物等を紹介していきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

お知らせ



人 事 異 動 平成29年 4月1日付け

お世話になりました。

[退職] 所長 井上 誠 [転出者] 専門官 江口 頼雄 (近畿中国局へ)

よろしくお願いします！

[後任者] 所長 廣田 忠善 (大分署から) 専門官 坂口 繁 (局 総務課から)

林野庁 九州森林管理局 西表森林生態系保全センター

〒907-0004 沖縄県石垣市登野城 55-4 石垣地方合同庁舎内
TEL: 0980-88-0747 FAX: 0980-83-7108

URL: <http://www.kyusvu.kokuyurin.go.jp/huresen/huresentop.htm>

